



加古川市立西神吉小学校

学校通信

No. 14

～ 朝会で… ～

ゴールデンウィークが終わりました。たくさん祝日がありましたが、それぞれどのような意味が込められているか調べたことはありますか。まず、5月3日は「憲法記念日」。1947年に日本国憲法がはじまった日です。5月5日は「こどもの日」。端午の節句といって子どもの成長を祝う日であるとされています。その間にはさまれた5月4日は2007年から「みどりの日」と名づけられています。以前は4月29日が「みどりの日」でしたが、現在は「昭和の日」となっています。なぜでしょうか？ このように、どうしてその日が祝日になっているのか、一つひとつの成り立ちを考えてみるのも大切なことかもしれませんね。

さて、5月7日（水）の全校朝会では、次のようなお話をしました。

朝会で話したこと

おはようございます。ゴールデンウィークが終わりました。みんなは、どんなふうに過ごしましたか。家族で旅行に行った人、遊園地で楽しんだ人、家でのおんびりした人、それぞれの連休が終わって、さあ気分一新。今日からまた学校生活が再開します。

さて、4月の朝会では「たいせつなこと・にしかんき」の「に」、「にげない」ということについて、発明王エジソンのお話をしました。覚えていますか。

今日は「し」、「しんじる」に関係するお話をします。

みなさんには「夢」がありますか？ 将来、大きくなって「こんな仕事をしたい」「こんな暮らしをしたい」「こんな人になりたい」という大きな夢から小さな夢まで、それぞれにきっとあると思います。でも、勉強がわからなかったり、友だちとけんかしたり、先生に叱られたり、うまくいかないときもありますね。いつの間にか自分の夢がどこかにいってしまいます。

そんな時は、ついつい弱音を吐いてしまう。暴言を吐いてしまう。「どうせできひんし」「なんで俺だけ」「もうやーめた」という言葉をついつい吐いてしまう。校長先生にだって、誰にだってあります。でも、大切なのはそこからです。

自分を信じて、友だちや先生、家族、周りの人を信じて、「もう少しがんばってみよう」と、口からたくさん前向きな言葉を吐いてみてください。

「吐く」という漢字をよく見てみると「口」に「+」と「-」があります。「口」から出るマイナスの言葉をどんどん減らしていき、プラスの言葉を増やしていくんです。そうやって、後ろ向きのネガティブな、とげとげ言葉を減らして、前向きのポジティブなふわふわ言葉を増やしていくと、「吐く」という漢字が変化していきます。

「吐く」という漢字は「口」に「+」「-」と書きます。この下の「-」を少しずつ小さくしていき、「口」からは「+」しか出てこなくなる。そうすると、「吐く」という漢字が、「口」と「+」で「叶う」という漢字に変わるんです。

「吐く」 → 「口」+「+」+「-」 → 「口」+「+」 → 「叶う」

自分を信じて、周りの人を信じて、「-」の言葉をどんどん減らしていき、「+」の言葉をどんどん増やしていく。そうしていくと、「こんな仕事をしたい」「こんな暮らしをしたい」「こんな人になりたい」という夢が叶うんですね。

実はこのお話、お笑い芸人のゴルゴ松本さんが「命の授業」という活動でお話されていることです。ゴルゴ松本さんは、今回の「吐く」「叶う」という漢字の他にも様々な漢字を使って大切なことを教えてくれているので、また調べてみてください。

風薫る5月、1年のうちでもっとも過ごしやすい季節になりました。しんどいことやつらいことがあるかもしれませんが、自分を信じて、周りの友だちや先生を信じて、学習や運動をがんばりましょう。

これで校長先生のお話を終わります。